

## 【補助事業概要の広報資料】

整理番号 25-121  
補助事業名 平成25年度 IdMにおける共通本人認証基盤の開発研究補助事業  
補助事業者名 一般社団法人 日本自動認識システム協会

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

今後の電子サービス等の充実に伴い、複数のサービスを跨るIdM(アイデンティティマネジメント)システムにおいてサービスをより安全で安心な形で提供することが必要になることが予想される。そのような環境で必要となることが予想されるパスワードに代わるより強固なセキュリティ性を提供するため、IdMシステムにバイオメトリクスを組み込むことを可能とする本人認証基盤の研究、開発とその評価を行った。

#### (2) 実施内容

(<http://www.bsc-japan.com/pdf/20140404/idm-20140404.pdf>)

認証基盤プロトタイプの開発研究の第3年度として、複数技術(指紋、静脈、顔、虹彩など)が組み込み可能な認証基盤の完成、ならびに電子認証システムへの適用について研究した。

IdMにおける共通本人認証基盤検討委員会(産:委員8名、オブザーバ4名、事務局1名、官:オブザーバ2名、学:委員長1名、委員2名、合計:18名)を4回開催し、そこで有識者(委員)の知見を持ち寄り、研究開発事項、調査事項の検討ならびに調査内容の報告と検討を行った。本活動により、バイオメトリクスを電子認証システム等に適用する際の共通バイオメトリック認証基盤の機能強化のため、OpenIDに加え、もうひとつの主要なIdMシステムであるSAML技術にも適用可能とし、また、複数のバイオメトリック認証技術の組み込みを可能と



する共通本人認証基盤部の追加機能の仕様を検討し、明確にした。

また、適用可能なセキュリティ技術の調査とともに、適用アプリケーションの選定と必要となるセキュリティ機能について必要機能を明確にした。

さらに、研究成果をもとにして、プロトタイププログラムの開発を行い、システム性能評価および検証実験を行い、妥当性を確認した。

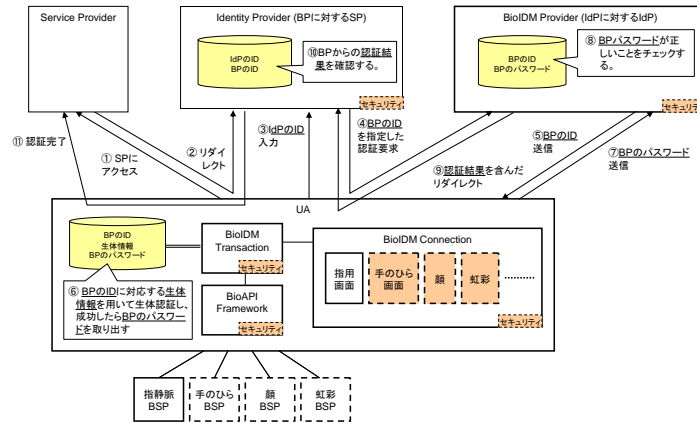


図1 SAML 技術を用いた SSO システム構成図

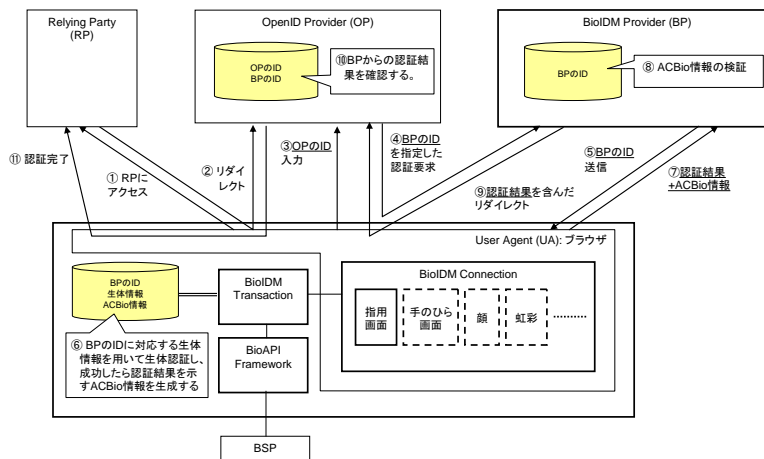


図2 共通バイOMETリック認証基盤におけるセキュリティ実現事例  
(端末から BP への認証結果と ACBio 情報の送信)

これらの研究開発により、IdMシステム開発者やバイOMETリック技術ベンダの開発負荷を軽減しつつ、IdM市場にバイOMETリック認証をスムーズに組込むための基本技術が確立できた。

また、応用アプリケーションの候補として、西宮市情報センターが開発・管理を行っている被災者支援システムを取り上げ、西宮市情報センターを訪問し、被災者支援

の目的で生体認証を用いる可能性調査検討を行った。この結果、所持するタイプのIDを失った被災者が避難所で緊急物資の支援を受ける際に、効率よく迅速・的確に物資を供給するための本人確認として用途が考えられるとの結論を得ることができ、実際の社会システムとして本事業の成果の活用先を見出すことができた。

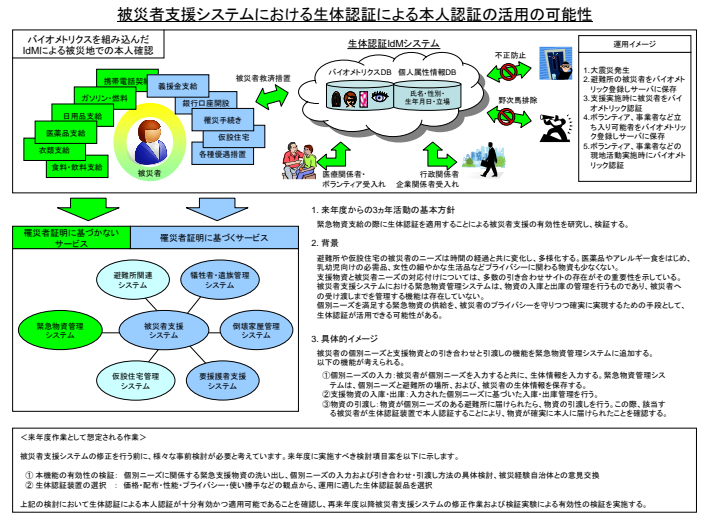


図3 想定活用案

2 予想される事業実施効果

IdM技術とバイオメトリック認証技術を標準的に組み合わせたケースは世界的に存在せず、また、そのための規格も存在していない。

本事業は、IdMおよびバイオメトリクス関係の国際標準に則し、新技術の国際標準化を目指して新技術の開発を行い、また成果も業界関係者で共有する予定で進めており、技術の適用先は日本国内だけでなく、海外への適用も可能である。

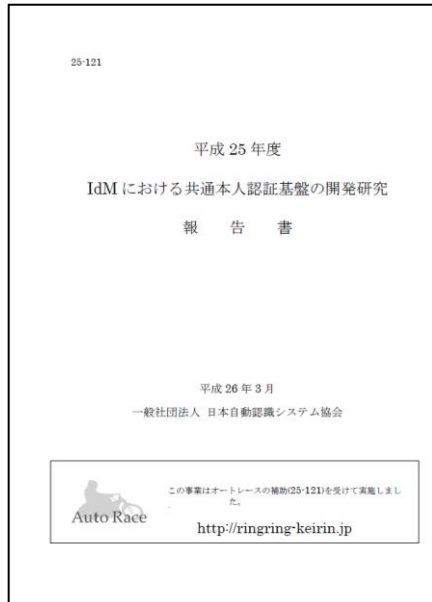
本事業の開発成果は、日本国内だけでなく海外のシステムへ適用することも考えられるため、事業成果の適用先が拡大し、国内産業の市場が海外へも広がることにも寄与できると考えている。

### 3 補助事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

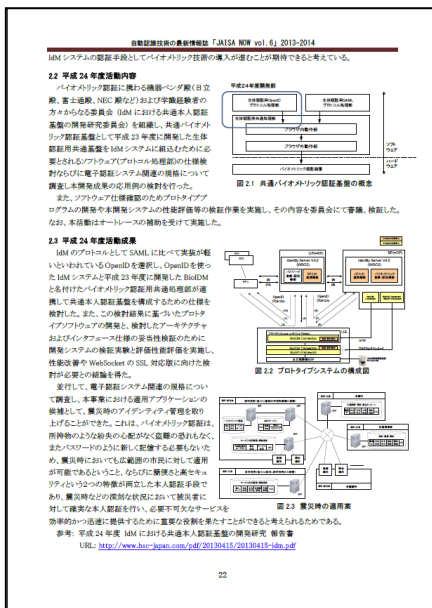
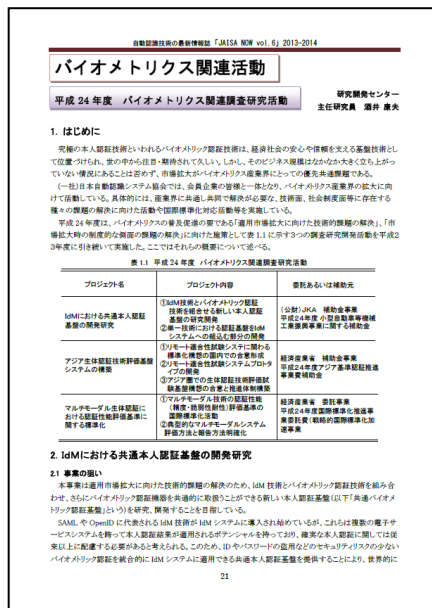
#### 平成25年度 IdMにおける共通本人認証基盤の開発研究 報告書

(<http://www.bsc-japan.com/pdf/20140404/idm-20140404.pdf>)



#### (2) (1) 以外で当事業において作成したもの

#### JAISANOW vol6 (JAISAの技術情報誌) (2013年自動認識総合展にて配布)



#### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： (一社)日本自動認識システム協会 (エレクトロニクスシステムキョウカイ)

住所： 〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-9-5 FKビル7F

代表者： 代表理事 会長 柵木 充彦 (マセギ ミツヒコ)

担当部署： 開発センター (カイハツセンター)

担当者名： 酒井 康夫 (サカイ ヤスオ)

電話番号： 03-5825-6651 (代表)

F A X： 03-5825-6653

E-mail： [y-sakai@jaisa.or.jp](mailto:y-sakai@jaisa.or.jp)

URL： <http://www.jaisa.jp/>